

第2学年1組 道徳指導案

平成20年2月6日（水）第2校時
授業者 教諭

1 主題名 みんなのいいところ 4-（3）愛校心

2 資料名 みんなのいいところ
～ねえきいて、ぼくのわたしのよいところ～

3 主題設定の理由

（1）ねらいとする価値について

低学年の児童にとって、一人一人の個性が大切にされ認めあえる友達ができることは学校が楽しくなるための重要な要素である。児童がそのような関係になるのには自分のよさと相手のよさを知ることが不可欠である。

しかし、自己肯定感が乏しいために、平気で友だちを否定したり傷つけてしまったたりする児童もいる。たくさん友だちがほしい時期なのに、うまくコミュニケーションがとれなくて困っている児童もいる。自分のよさを伝え、相手のよさを認める機会を持つことで集団の一員としての自覚を育て、よりよい学級をつくろうとする態度を育てることをねらいとしている。

また、1年生から一緒に生活してきた学級だが、4月には進級しクラス替えを目前にしている。自分に自信を持ち自分のまわりに素敵な友だちがいることを知ることで、進級への不安も取り除くことができるのではないかと考えこの時期に設定した。

（2）児童について

男子20名 女子15名 合計35名の学級である。担任は変わったがクラス替えもなく児童同士は入学当初からの仲間である。学級全体を見ると、大変パワーがあり、様々な行事を楽しみにしている児童が多い。

しかし、2年生という発達段階から考えても、友だちとの関わりは未熟な児童も見られる。自分は言われたくない言葉を友達に言ってトラブルになることもある。自分も相手も大切な存在であるという認識は十分とは言えない。

4月から帰りの会で「友だちのいいところ」を発表する時間を設定し友だちががんばっていたことや優しくしてくれたことをみんなに広げる活動をしてきた。低学年ということもあり、持ち物を拾ってくれたことや貸してくれたことに対する発表が多い。それでも、自分が友だちにしてあげたことを発表された児童は、うれしそうな笑顔を見せている。

このことから、どの児童も友だちとの関係をよりよくしたいと願っており、自分も認められたいと思っているようである。

（3）資料について

①みんなのいいところ

この資料は、どの教室にでもありそうな風景を取り上げているので、子どもたちは親近感を持ちやすい。朝の健康観察の声は小さいけれどあやとりには自信を持っている主人公に共感を持つ子は多いだろう。小さい声だけれど、一生懸命返事をするあやちゃんのよさに目を向けさせ、それが一人一人の個性として認めようとする学級を描いた資料となっている。

②ねえきいて、ぼくのわたしのよいところ

このエンカウンターは、家族や友だちから自分の良いところを文字で書いてもらい、中で一番自分にあっていると思う良いところを自分で表にまとめ、自分へのご褒美とする活動である。

自分自身の良いところをお互いに伝え合う活動をすることで、自己肯定感を高めたり、友だちの良い点を素直に認めてあげられるのではないかと思う。

（4）指導について

2年生としての発達段階では、お家の人に褒めてもらうということは大変うれしいことである。そこで、一番身近で成長を見続けてきたお家の方にも協力して頂き、本人の良いところを文章にってもらうことにした。また、ショートエクササイズを活用し、「友だち同士で良いところ見つけ」も事前に行いこの活動を行うよう工夫した。

本校の研究テーマである「思いをふくらませ表現することのできる子どもの育成」を受け、本年度は特に「自信を持って自分の思いを表現できる学級づくり」を個人テーマに据えて取り組んできた。

エンカウンターではルールをきちんと守るということが大変重要なポイントとなっている。4月当初から個人研究の中で力を注いでいる「聞きとる」姿勢を確認しながら集中力を高めて臨ませたいと思う。そして高まった雰囲気の中で自分の思いをふくらませたいと思う。

本時では、自分のよいところを自分の言葉で相手に伝える「ねえきいて、ぼくのわたしのよいところ」を大きな活動とした。たくさん人から認められたことをそれぞれが自分の言葉で知らせることで、自己肯定感や相手意識を高めたいと考えた。日頃の活動を生かし、様々な友だちと楽しく関わりを持ちながら活動させたい。また、この活動をすることで、学級で気がかりな児童が自信を持って友だちと仲よくコミュニケーションをとる足がかりになればと願っている。さらに、本時でそれぞれの心に残った自信が、次のステップで思い切ったチャレンジできる原動力となっていきたい。

4 本時のねらい

先生や友だちと一緒に、楽しい学校生活を送ろうとする意欲を育てる。

5 準備物

ワークシート、いいところ賞状

6 本時の展開

過程	主な発問と児童の活動	支援（・）と評価（☆）
気づく 考える	1 資料「みんなのいいところ」を読んで話し合う。 ○みんなの朝の健康観察の様子はどうか考えてみよう。 ・○○さんは声が小さいよ。 ・○○君は元気いっぱいだよ。 ○資料のあやちゃんの声が小さいのはどうしてかな。 ・恥ずかしいから。 ○あやちゃんの目が生き生きしてきたのはなぜか考えてみよう。 ・あやちゃんはあやとりには自信があるから。	・自分たちの朝の健康観察の様子を思い出しながら発表させる。 ・お元気係りから健康観察の様子を聞いて意見を出しやすくする。 ・声が小さいだけで「悪い」ということにならないように配慮する。
見つめる 深める	2 お家の方や友だちが書いてくれた自分のいいところを知る。 ○お家の人や友だちが見つめてくれたみんなのいいところをのぞいてみよう。 ・お母さんが○○って書いてくれた。 ・○○が上手って書いてくれてうれしいよ。 3 自分のよさを見つめる。 ○友だちやお家の人に教えてもらった自分のよいところを「いいところ賞状」にまとめよう。 ・優しいところを賞状に書こう。 ・元気いっぱいって書くよ。	・感動を味わわせるために、この日に初めて本人に渡すようにする。 ☆みんなに教えてもらったことの中から自分のよさを見つめられたか。 (いいところ賞状)
高める	4 自分のよさを伝え、友だちのよさを認める。 ○いいところ賞状に書いたことをグループの友だちに自信を持って伝えよう。友だちのいいところもしっかり聞いてあげよう。 ・私のいいところは優しいところと字がきれいなところです。 ・ぼくのいいところは、元気に遊ぶところとボールを投げるのが速いところです。	☆いいところ賞状をもとにはっきりと友だちに自分のよさを伝えることができたか。(発表) ☆友だちのよさをしっかりと受け止めることができたか。 (聞く態度) ・何人かのいいところ賞状を紹介し、3年生になってもよさを大切にしていってほしいことを伝える。